

施工・取扱説明書

アーキテクチャル スクエアプラス器具用 在来天井枠

品番：FYY80081・FYY80082・FYY80083
FYY80084・FYY80086

- 施工・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」(2～3ページ)は、施工前に必ずお読みください。
- 施工・取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- この施工・取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
- この施工・取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	2
1. 一般事項	
1-1 適用範囲	4
1-2 構成と各部の名称	4
1-3 天井材仕様・主要部材明細	5
使用ドライバー推奨値	5
2. 施工	
2-1 開口	6
2-2 吊りボルトとTハンガーの取付	6
2-3 アルミ枠の組み立て	7
2-4 各タイプ部材使用箇所	8
2-5 外枠・内枠とTハンガーの取付	10
2-6 ブレース材の取付	10
3. 自主検査	
施工チェックリスト	11

お客様へ



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。この施工説明書は大切に保管してください。



安全上のご注意 必ずお守り下さい

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 **警告**

 禁止	指定以外の環境で使用しない 直接日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
	枠から指定以外の器具等を吊るさない 地震などによる天井部材の落下の原因となります。

【適合照明器具】

FYY22150、FYY22140、FYY22130、FYY22120
FYY22250、FYY22240、FYY22230、FYY22220
FYY22750、FYY22740、FYY22730、FYY22720

警告

■施工

インサート図、ブレース図に必ず基づき施工する

指定外で施工すると、地震などによる天井部材の落下の原因となります。

指定の部材(外枠、内枠、Tハンガー、ジョイナーなど)、ビスにて必ず施工する

指定以外のもので施工すると、天井部材の落下の原因となります。

ブレース材のビス取付は指定本数にて必ず行う

指定以下の本数で取付けると、地震などによる天井部材の落下の原因となります。

ビスの締付は、必ず指定トルクで行う

指定外で締付けると、地震などによる天井部材の落下の原因となります。

ヘルメット、作業着、手袋を着用する

施工時、部材により指、腕、頭等ケガをする恐れがあります。



必ず守る

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。

施工前説明

安全上のご注意

必ずお守り下さい

注意

■梱包

壁に資材を立掛けない

資材を立掛けた場合、資材が倒壊しケガの原因となることがあります。

ヘルメット、作業着、手袋を着用する

部材の取出し作業時、部材により指、腕、頭等ケガをする恐れがあります。

■使用環境

降雨や吹き込みによる冠水、湿気の影響を受けない場所に保管する
腐食等が発生し、地震などによる天井部材の落下の原因となります。

製品を置く場合は直接地面に置かず、平らな場所へ板を敷き水平に置く
腐食等が発生し、地震などによる天井部材の落下の原因となります。



必ず守る

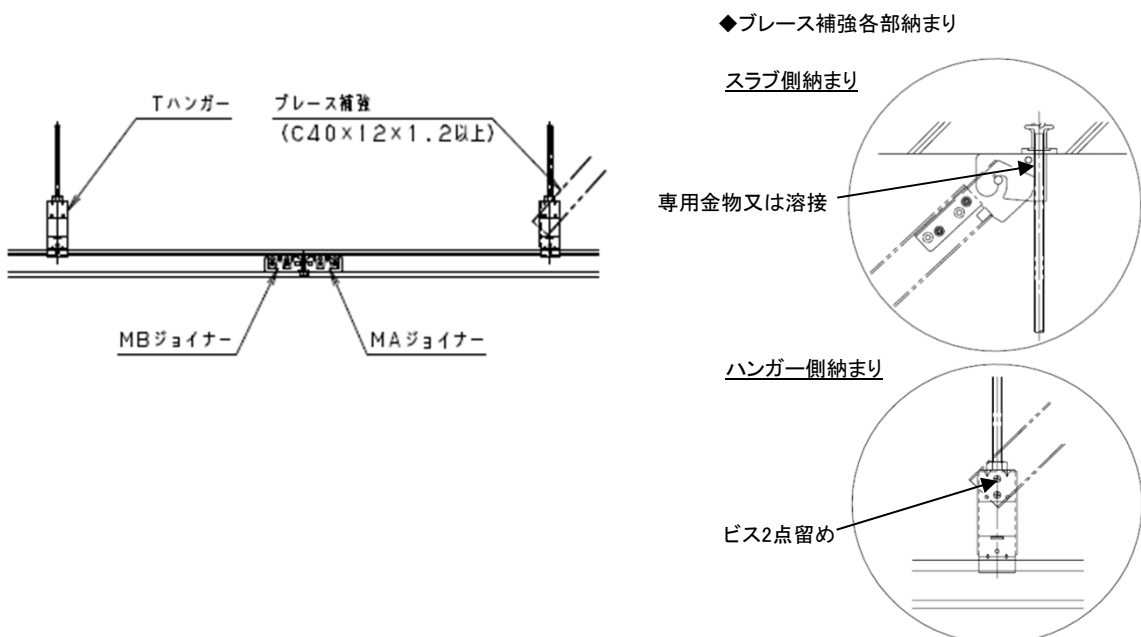
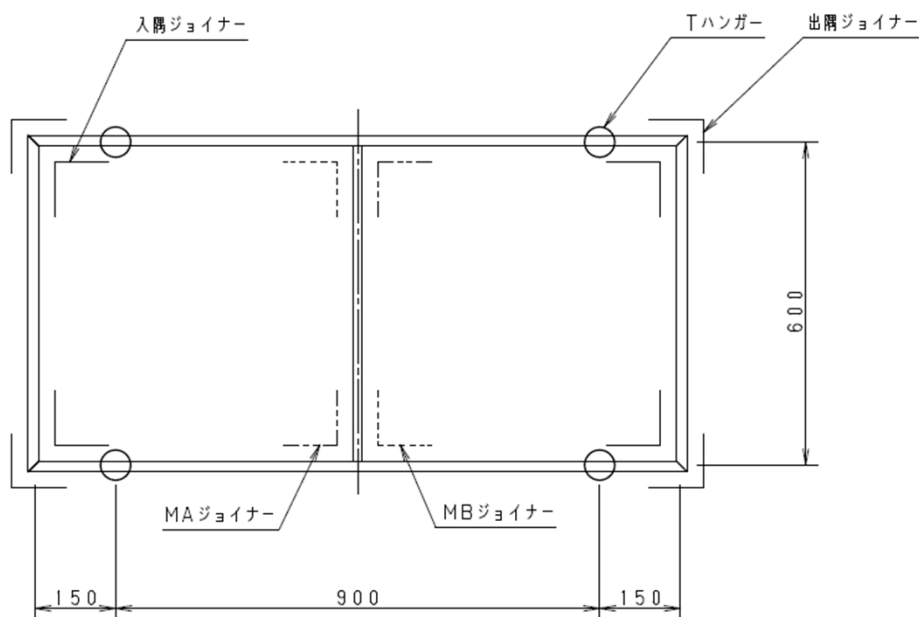
1. 一般事項

1-1 適用範囲

本施工説明書は、「C工事向けシステム天井器具 在来天井枠仕様」の施工方法について規定する。
必ず本施工説明書記載の専用金具を使用し、施工を実施すること。

1-2 構成と各部の名称

各部材の名称と構成は下記による。(2マスタップの場合)



1-3 天井材仕様・主要部材明細

主要部材明細図

	品名	アルミ枠(外枠)
	品番	FYY80081他
	材質	アルミ押出材(A6063S-T5)
	処理	ホワイト塗装(DA-01)
	品名	アルミ枠(内枠)
	品番	FYY80081他
	材質	アルミ押出材(A6063S-T5)
	処理	ホワイト塗装(DA-01)
	品名	MAジョイナ(右用) MBジョイナ(左用)
	品番	NS02012 NS02013
	材質	亜鉛鋼板(SGCC) t 1.2
	処理	Z12
	品名	Lジョイナ(入隅用)
	品番	NS02011
	材質	亜鉛鋼板(SGCC) t 1.2
	処理	Z12
	品名	Lジョイナ(出隅用)
	品番	NS02041
	材質	亜鉛鋼板(SGCC) t 1.2
	処理	Z12
	品名	Tハンガー
	品番	NS02000K
	材質	亜鉛鋼板(SGCC) t 1.6
	処理	亜鉛付着量 Z12 (JIS G 3302)

使用ドライバー推奨値

性能	回転数: 1500~2500回転/分
備考	締付トルク目安 ドリリングビス使用時: 3.3N-m タッピンビス使用時 : 0.5 N-m

2 施工

手順

2-1 開口寸法

照明器具 設置台数	1台	2台	3台	4台	6台
開口寸法 (長さ)	610×610	610×1210	610×1810	1210×1210	1210×1810

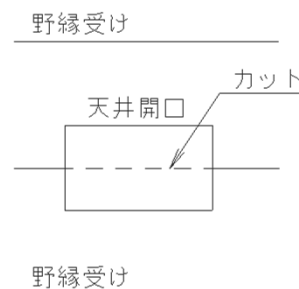
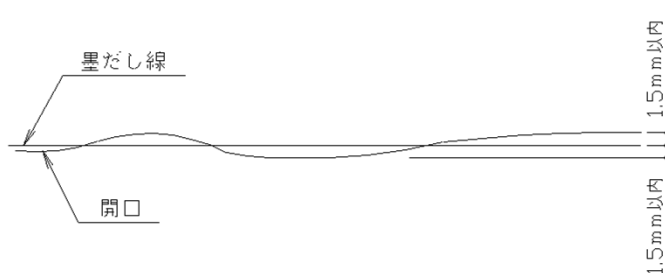
※それ以外の台数に関しては別途ご相談ください

2-2 墨だし

- ・施工図と、上記開口寸法にしたがって墨だしを行います。

2-3 開口工事

- ・墨だし線に沿って、天井を開口します。
- ・開口には、カッターや引き回しのご等を使用してください。
- ・墨だし線に対する開口の出入りは、±1.5～2mmを目標としてください。
- ・天井の切断口にかかる野縁は、全てカットしてください。



2-2 吊りボルトとTハンガーの取付

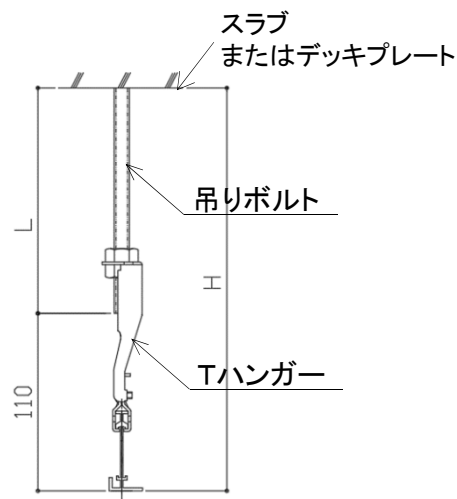
- ① インサート図に基づきインサート位置を確認する
- ② 吊りボルトを指定の長さで切断する

$$L(\text{ボルト長さ}) = H(\text{天井ふところ}) - 110 + h$$

スラブ の場合 $h=20$

デッキプレート の場合 $h=10$

- ③ 吊りボルトとTハンガーをセットする
- ④ セットしたものをインサートにねじ込む
 - ・吊りボルトは地面に対して垂直にする
 - ・吊りボルトは所定の位置で吊り下げる



警告



必ず守る

必ず指定の位置に吊り下げる

指定外の位置に吊り下げると地震などによる天井部材の落下の原因となります。

2-3 アルミ枠の組み立て

① 外枠を組み立てる 下図参照

- ・45° カットしてある外枠をマス目状に設置
 - ・1つのコーナー部に入隅・出隅ジョイナーを1個ずつ使用しカシメ作業を行い計4箇所固定する
- ※隙間・段差がないことを確認する

警告



必ず守る

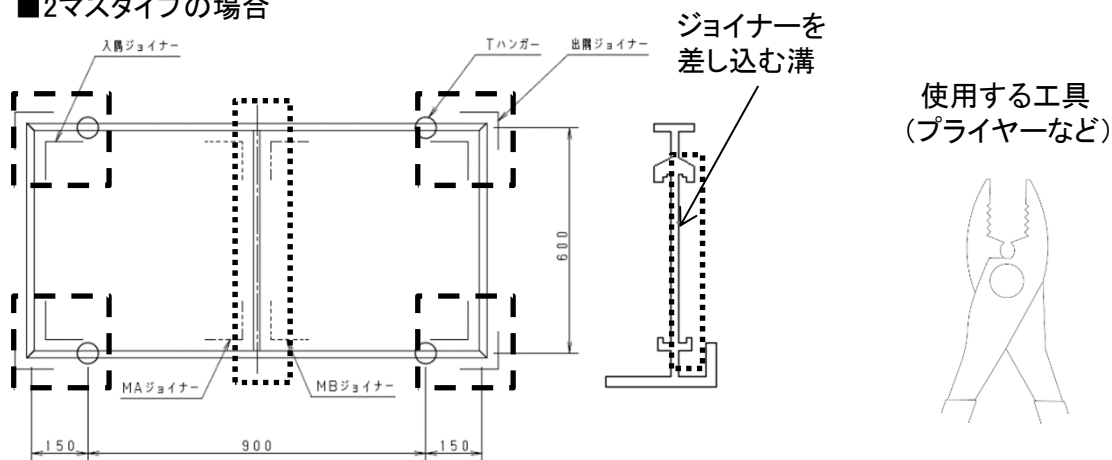
指定された取付け金具等の組合せで施工する

指定外の組合せで施工した場合、天井部材の落下の原因となります。

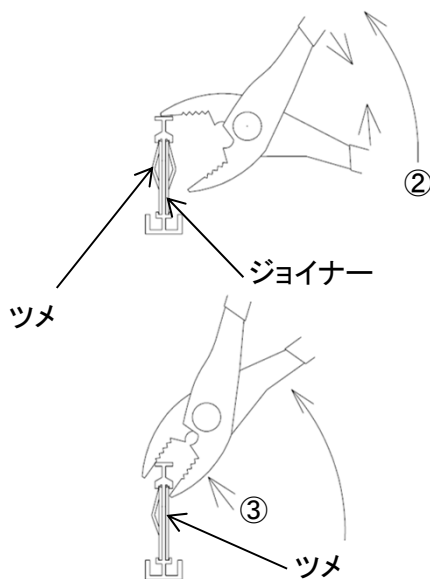
② 内枠を組み立てる 下図参照

- ・予め内枠側にMA・MBジョイナーを設置(固定せず)した状態で外枠と位置を合わせる
 - ・MA・MBジョイナーをスライドさせ外枠にある角穴に合わせカシメ作業にて固定する
- ※使用箇所によってはMA・MBジョイナーの使用個数が変わるので注意すること

■2マスタップの場合



枠のカシメ方 ◆プライヤーの場合



- ①ジョイナーを外・内枠の溝に差し込む
- ②締め込みながら上に持ち上げる
工具でツメの部分を潰す
※工具はツメを確実に潰せるものを使用すること
- ③ツメの部分が枠の溝上部に入り込むまで潰す
- ④反対側も同様に締め込みながら上に持ち上げる

警告



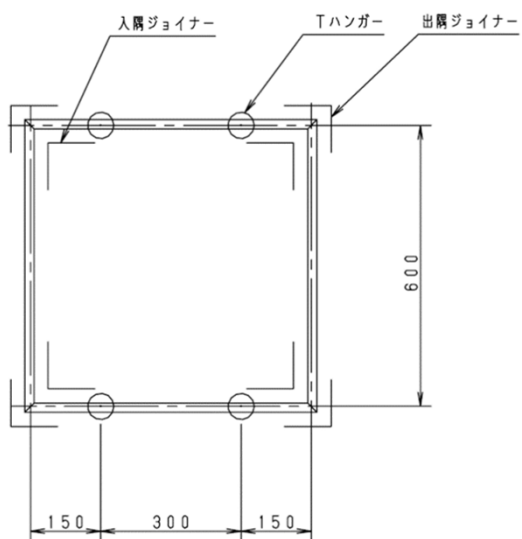
必ず守る

アルミ枠(外枠・内枠)の接続は確実にを行う

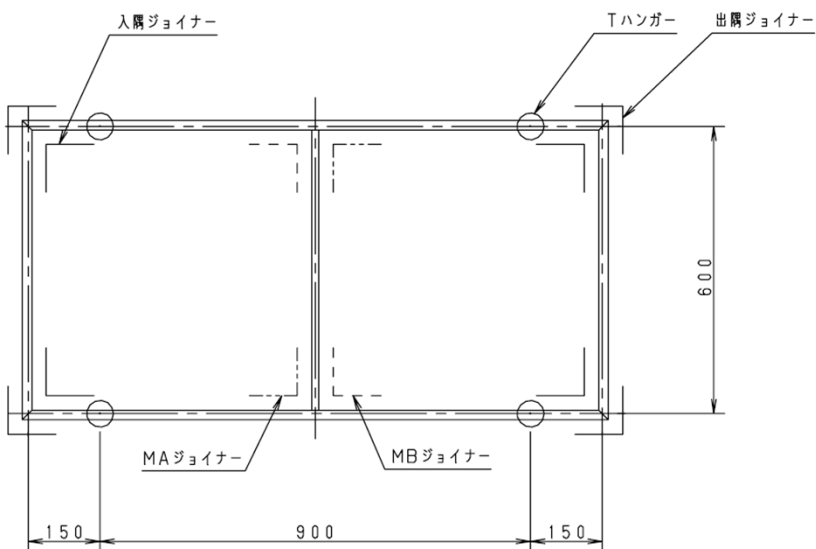
取付が不完全な場合、地震などによる天井部材の落下の原因となります。

2-4 各タイプ部材使用箇所

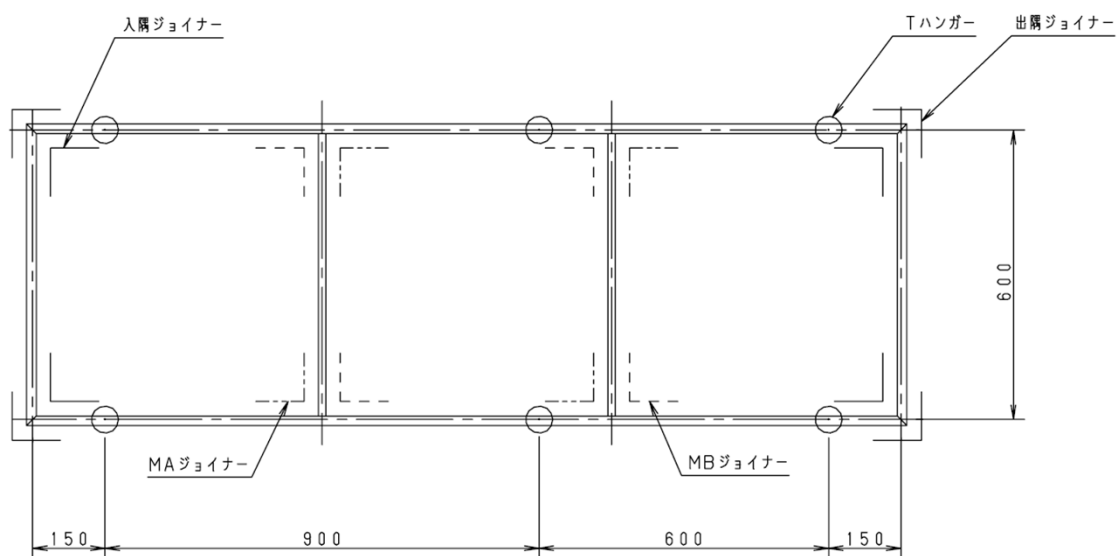
◆FYY80081(1マス用)



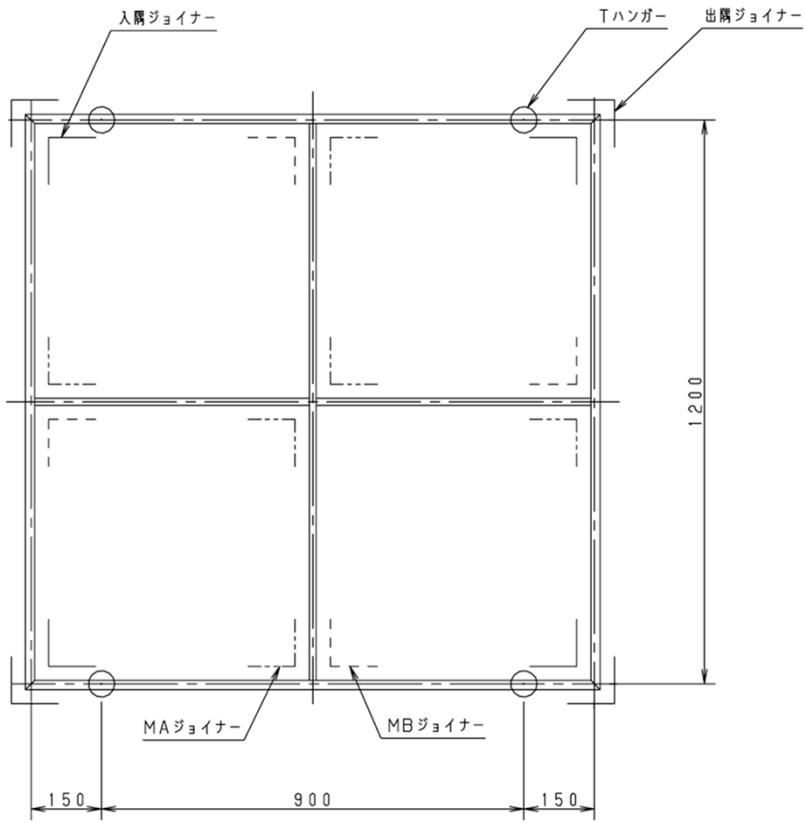
◆FYY80082(2マス用)



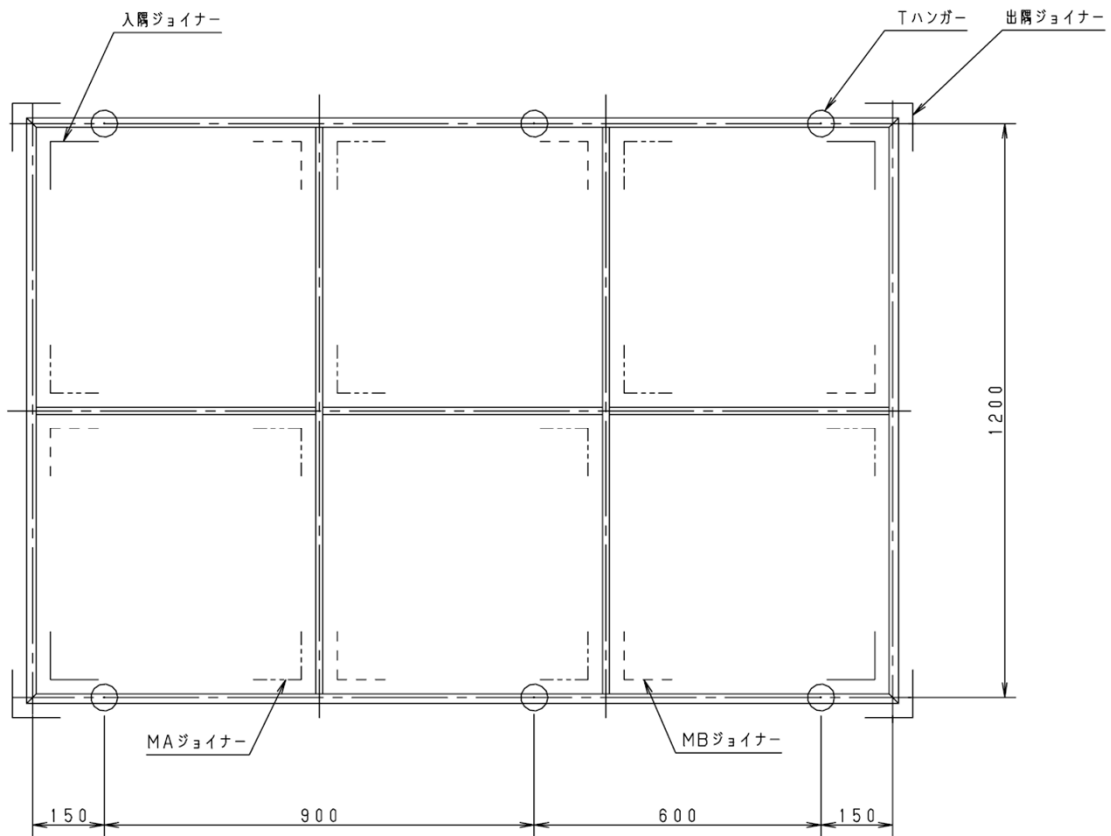
◆FYY80083(3マス用)



◆FYF80084(4マス用)

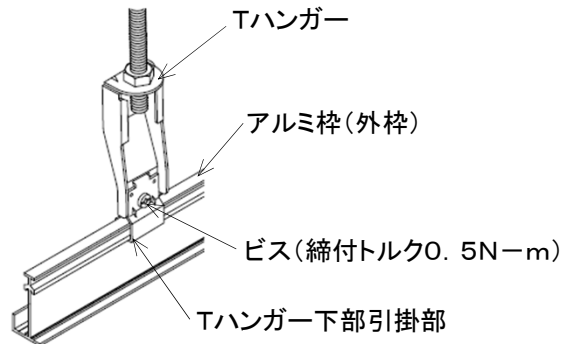


◆FYF80086(6マス用)



2-5 外枠・内枠とTハンガーの取付

組み立てたアルミ枠(外枠)をTハンガー下部引掛部に押し当てビスを0.5N・mで締め付ける



- ・ビスの締め付けにインパクトドライバーは使用しない。
- ・Tハンガーの変形によりTバーが蛇行する場合があります。

警告



必ず守る

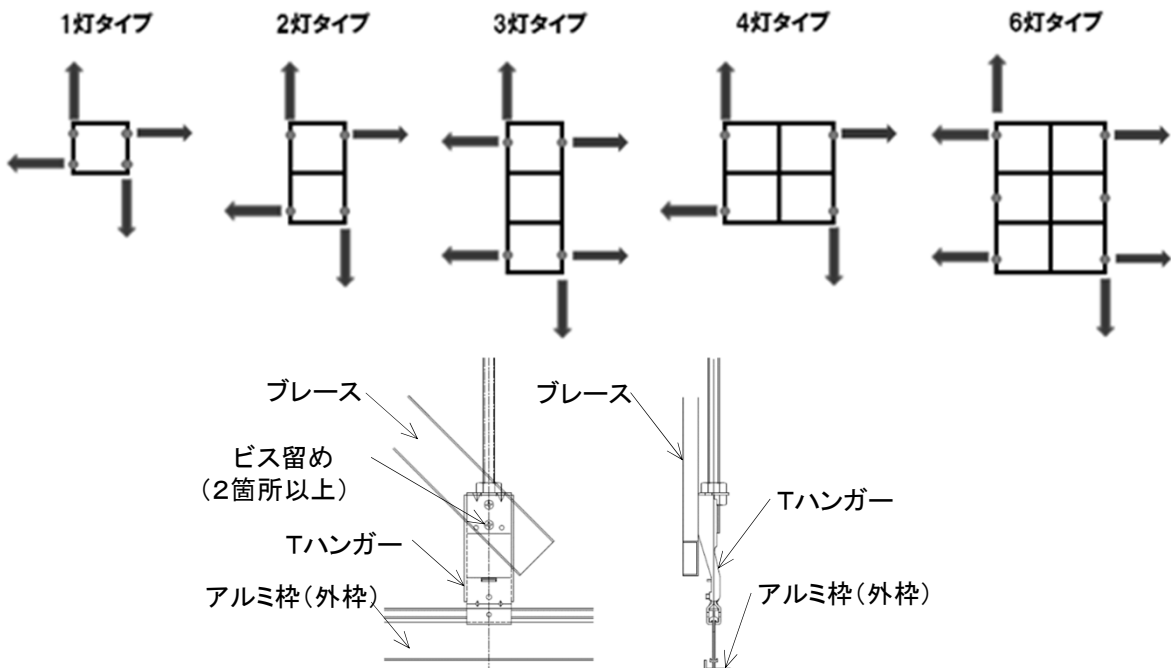
アルミ枠(外枠・内枠)の接続は確実にを行う
取付が不完全な場合、地震などによる天井部材の落下の原因となります。

2-6 ブレース材の取付

ブレース材の角度は30°～55°の範囲内になるように施工してください。
また設置する本数は必ず守ってください。(下図の矢印側がスラブ面です)

※下記以外の台数や、正規の位置へブレース材が取付けられない場合は別途ご相談ください

ブレース材は下記の矢印位置へ必ず設置してください



警告



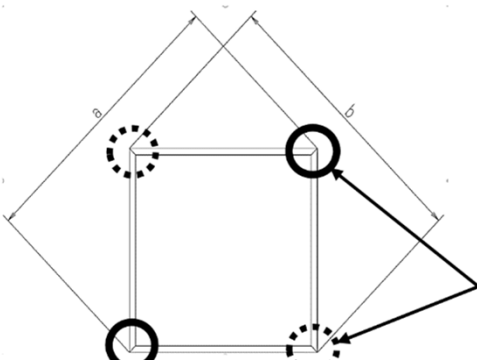
必ず守る

ブレースの取付は必ず指定内容により確実にを行う
取付が不完全な場合、地震などによる天井部材の落下の原因となります。

※照明器具の設置に関しましては、器具の取扱説明書をご確認ください

検査日時	令和 年 月 日	午前/午後	: ~ :
件名:	点検場所: 階 室		
施工業者:	検査者:		
工事管理者:	工事監理者		
建物用途: 事務所・庁舎・工場・体育館・その他()	建物構造: RC・SRC・S・・・その他()		
建物階数: 階	施工階: 階		
天井懐寸法: m	ブレース負担面積: m ² /対		
使用ブレース材:	使用圧縮材:		
壁際クリアランス設定寸法: mm			

※施工チェック項目

インサート、吊りボルト、Tハンガー	1. <input type="checkbox"/> インサート、吊りボルトは、インサート図に基づき施工されている 2. <input type="checkbox"/> 吊りボルトはインサートに確実に固定されている 3. <input type="checkbox"/> 吊りボルトは垂直に吊り下げられている 4. <input type="checkbox"/> インサート、吊りボルトの間隔は指定されたピッチであること 5. <input type="checkbox"/> 吊りボルトの吊り長さは均一である 6. <input type="checkbox"/> Tハンガーは吊りボルトと確実に固定されている 7. <input type="checkbox"/> Tハンガーが吊りボルトに引っ張られ傾いたり浮き上がったりしていないか	良・否 良・否 良・否 良・否 良・否 良・否 良・否
Tハンガー、アルミ枠(外枠)、アルミ枠(内枠)、ジョイナー	8. <input type="checkbox"/> Tハンガーが所定の位置でアルミ枠(外枠)を吊り上げているか 9. <input type="checkbox"/> Tハンガーはアルミ枠(外枠)と確実に固定されているか 10. <input type="checkbox"/> ブレースを施しているTハンガーはアルミ枠(外枠)とドリリングビスで固定されている 11. <input type="checkbox"/> アルミ枠(外枠)とアルミ枠(内枠)は正しい組合せで固定されているか 12. <input type="checkbox"/> アルミ枠(外枠)とアルミ枠(内枠)に段差など出来ていないか 13. <input type="checkbox"/> アルミ枠(外枠)とアルミ枠(内枠)はジョイナーで確実に固定されているか 14. <input type="checkbox"/> アルミ枠の形状が歪んだまま施工されていないか (※別途備考参照) 15. <input type="checkbox"/> ジョイナーのカシメ部分は工具により確実にアルミ枠に締め付けられているか 16. <input type="checkbox"/> ジョイナーの使用箇所数は合っているか 17. <input type="checkbox"/> ジョイナーの使用する方向は合っているか	良・否 良・否 良・否 良・否 良・否 良・否 良・否 良・否 良・否 良・否
ブレース	18. <input type="checkbox"/> ブレースは決められた所定の位置に施工されている 19. <input type="checkbox"/> ブレース材はロックウール工業会で定められている懐寸法に応じた耐力があるものを使用しているか 20. <input type="checkbox"/> ブレース材と吊りボルトの角度は30° ~60° 以内であるか 21. <input type="checkbox"/> ブレース材とTハンガーはビス(2個以上)で確実に固定されているか	良・否 良・否 良・否 良・否
備考	14. a及びb寸法を測定しズレが生じている場合は、ジョイナーのカシメ部を一旦緩めながら、正しい形状になるように調整する ※図は1マス用の場合 a,b寸法の公差は884±0.5とすること  ジョイナー部	

- 商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。
 - 本書からの無断複製はかたくお断りします。
-

パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2019

お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター
0120-878-709(フリーダイヤル) 0120-872-460(FAX)

FYY80081-T
DC0619-1079